

単元名 文字の組み立て方(選たく)

配当時間 7時間

- 単元の目標 (1) 左右・上下の組み立て方と点画の変化について理解して書くことができる。
 (2) 左右・上下の組み立て方に気を付けて、自分の課題を考えて書くことができる。
 (3) 左右・上下の組み立て方に気を付けて、字形を整えて書こうとする。

標準的な展開例

04020203_001

【教材名】『土地』または『岩山』(毛筆)／(こう筆の学習) 文字の組み立て方／レッツ・トライ 短歌／レッツ・トライ ぼうさいかるた (P.34～P.41)

【準備等】水書板、電子黒板、練習用紙、短歌の用紙、かるたの用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 左右・上下の文字の組み立て方を理解して、『土地』か『岩山』を書く。 ★左右・上下の組み立て方に気を付けて書こう ○硬筆と毛筆で『土地』か『岩山』を試し書きし、課題をつかむ。 ○試し書きと教材文字を比較して、気付いたことを話し合う。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをし、自己評価する。 まとめ書きを発表する。</p> <p>○硬筆でまとめ書きをする。</p> <p>○組み立て方に気を付けて硬筆で書く。</p> <p>4 左右・上下の文字の組み立て方と点画の変化を理解して硬筆で書く。 ★左右と上下の組み立て方に気を付けて硬筆で書こう ○硬筆で『説』『湖』『電』を書く。</p> <p>○どのような組み立て方になっているか確認する。</p> <p>○練習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学習した『林』『笛』から自分のめあてを設定し、教材を選択するようにする ・硬筆は、教科書P.36の「ためし書き」の欄を活用させる。 ・それぞれの教材文字は、幅や高さ、形がどう変わるのか、同じ教材を選んだ友達と考えることができるようにする。 ・『土地』は『土』が「つちへん」になると、幅が狭くなり、3画目の「横画」が短い「はらい」になる。 ・『岩山』は『山』『石』が文字の上や下の部分になると、それぞれの部分の高さが低くなる。 【評】話し合いの様子や作品を通して、文字の組み立て方に対する「知識・技能」を評価する。 ・自分のめあてに合った練習用紙で練習できるようにする。 ・教材文字と比べ、同じグループ同士でよくなったところや課題を見合うようにする。 【評】練習や作品を通して、めあてに合った教材を選択して書く「思考・判断・表現」を評価する。 ・3回の授業を通しての学習の感想をワークシートに書き、自己評価する。 ・よくなったところ、難しかったところを発表するようにする。 【評】自己評価や発表を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・教科書P.36の「まとめ書き」の欄を活用させる。 ・教科書P.37に例示された漢字を、左右・上下の組み立て方に気を付けて書くように伝える ・教科書P.57～P.60の「漢字表」から、左右・上下の組み立て方の文字を五文字程度探して書くよう指示する。 ・『地』や『岩』のように単体の文字が漢字の部分になっている文字を教科書P.57～P.60の「漢字表」から探して書くよう指示する。 ・左右の組み立て方か、上下の組み立て方かを意識して書くように声かけをする。 ・どのような組み立て方になっているか話し合うように促す。 ・左右の組み立て方 『説』…左の幅が右の幅より狭い。 『湖』…3つの部分からできている。 ・上下の組み立て方 『電』…上下の部分が同じくらいの高さ。 ・『電』の「はね」から「はらい」など、点画の変化に注意させる。 ・試し書きに赤で批正し、自分のめあてをもたせる。 ・めあてにそって補助線を入れたり、書いた後に友達と確かめ合ったりしながら練習するように指示する。

<p>○まとめ書きをする。</p> <p>○『級・物・側・働・念・習』を書く。</p> <p>5 左右・上下の組み立て方の文字を調べて、字形を整えて書く。 ★左右・上下の組み立て方の文字を調べ、字形を整えて書こう</p> <p>○「三年生で学習した漢字」の一覧から、左右・上下の組み立て方の漢字を探して分類する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○自己評価、相互評価する。</p> <p>○文を見て、文字の組み立て方を意識する。</p> <p>6 文字の大きさや中心に気を付けて、配列を整えて書く。 ★文字の大きさと配列に気を付けて書こう ○藤原顕輔の短歌を硬筆で書く。</p> <p>○縦書きで配列を整えて書くための基準を理解する。</p> <p>○練習し、基準を確かめる。</p> <p>○まとめ書きをし、試し書きと比べて自己評価する。</p>	<p>・めあてが達成できた児童には、同じ組み立て方の文字をいくつか用意し、どのような組み立て方か考えながら練習するように促す。 【評】練習を通して、組み立て方を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・試し書きと比べ、めあてが達成されたか確かめる。</p> <p>・いくつか用意した文字は、どの文字と同じ組み立て方か確かめる。 【評】作品を通して、文字の組み立て方に対する「知識・技能」を評価する。</p> <p>・組み合わせると字形がどのように変化するか考えさせるようにする。 【評】練習や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・教科書P.59～P.60の「三年生で学習した漢字」の一覧をコピーして配付し、以下の基準にあてはまるものを選び、印をつけて分類するように促す。</p> <p>・漢字学習の進度によっては、教科書P.57～P.58の「四年生で学習する漢字」一覧を扱ってもよい。</p> <p>①左右の組み立て方（二つの部分からできている）横・化・泳など</p> <p>②左右の組み立て方（三つの部分からできている）湖など</p> <p>③上下の組み立て方 委・守・想など</p> <p>・分類は、視点を変えると他の組み立て方に分類できる物が多くある。どの分類にするか迷う場合は、どちらでもよいという対応をして児童には厳密な分類を求めないようにする。</p> <p>・3種類に分類したものをいくつか発表させ、それぞれ板書しながら気を付けるポイントを確かめる。</p> <p>・前時の学習を振り返り、単体文字が変化している部分の点画の変化にも気を付けるように促す。</p> <p>・分類した文字を、漢字表を見ながらワークシートに丁寧に書くようにさせる。</p> <p>・友達と見せ合い、相互評価できるようにする</p> <p>【評】練習や評価を通して、左右・上下の組み立て方を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書の文の一節を提示し、文中で使用されている漢字の組み立てを意識させる。</p> <p>【評】教科書の文を読む活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・文字の大きさと配列に気を付けて短歌を書く学習であることを知らせる。</p> <p>・「試書シート」に書くよう指示する。</p> <p>・試し書きをもとに、文字の大小や行の中心に目を向けるよう助言する。</p> <p>・今までの学習から、大きめに書く文字と小さめに書く文字について、気付くように指導する。</p> <p>・行の中心に線を引いて基準をつかみやすくする。</p> <p>①仮名は漢字より小さめに書く。</p> <p>②行の中心と文字の中心をそろえて書く。</p> <p>・中心線や補助線を加えて、自分のめあてに合った練習用紙を作成してもよいことを知らせる。</p> <p>・近くの席の人と相互に見合ってもよいことを伝える。</p> <p>・縦の罫線だけが引かれた「まとめ書きシート」に書き、試し書きと比べて自分で評価して振り返るよう助言する。</p> <p>【評】作品や自己評価を通して、文字の大きさや中心に対する「思考・判断・表現」を評価</p>
---	---

- 他の短歌でも配列を整えて書くと見やすいことを知る。
- 7 書写で学習した内容を生かして，防災かるたの文字を書く。
- ★文字の大きさと配列に気を付けて書こう
 - ワークシートに，防災かるたの文章を考えて記入する。
- 読みやすい文字の大きさや配列を考えて下書きする。
- めあてを把握し，練習する。
- かるたの用紙に書き，自己評価する。

- ・ する。
 - ・ 配列を整えて書いた他の短歌を見せ、関心を高めて終わるようにする。
 - ・ これまで学習してきたことを生かして、防災かるたを書く学習であることを知らせる。
 - ・ 教科書P. 61の「ひらがな表」から児童それぞれに冒頭の文字を分担して考えるよう促す。
 - ・ 読みやすいリズムを考えて作るように指示する。
 - ・ 教科書P. 41を見ながら、配列を考えさせる。
- 読み札を書くポイント
- ①文字が目立つようにする。
 - ②行間をあけ、行の中心をそろえる。
 - ③平仮名は、漢字よりもやや小さめに書く
- 絵札の文字を書くポイント
- ・ 文字が目立つようにする。
 - ・ かるたの用紙と同じ大きさの紙を準備し、鉛筆で下書きをしてからフェルトペンでなぞるようにして練習するとよい。
 - ・ 読みやすさについて、児童同士で相互評価しながら練習するよう促す。
 - ・ 鉛筆で下書きし、フェルトペンでなぞって完成させる。
 - ・ 文字の大きさや配列に気を付けて書けているか確かめる。
- 【評】 作品や自己評価を通して、文字の大きさや配列に対する「知識・技能」を評価する。

【 備 考 】